

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
①団体名	埼玉県草加市都市整備部みどり公園課
②事業名	まつばら綾瀬川公園整備事業
③本事業の現在の検討ステージ ※該当する番号に○（いずれか一つ）	①事業発案 2.事業化検討 3.事業者選定 4.その他（ ）
④サウンディングの目的	○公園遊具については、木製遊具であり、設置から10年以上経過していることから更新の必要性が生じている。また、駐車場が設置されており、市内の代表する公園の一つであることから子育て支援につながるインクルーシブ遊具や大型遊具等の整備及び運営を含めた民間参入の可能性を検討したい。 ○にぎわいの創出・利便性向上のため、カフェ等の便益施設の整備について、採算性などを踏まえて民間参入の可能性等について検討したい。 ○老朽化した園路等公園施設の官民連携による再整備を模索している。 ○治安の悪化が公園の問題点となっており、管理者や便益施設等の設置による見守り機能を付加することで、課題解決を図りたい。 ○市内の別の公園（総合公園）についても官民連携を視野に入れており、その前段階として催し等が頻繁に行われている本公園で官民連携を実現したいと考えている。 ○上記の観点から、持続可能な公園運営を行うために民間事業者の参入可能性についてサウンディング調査の結果を受け、整備方針について検討していきたい。
⑤民間事業者に対する質問事項	○Park-PFIによる整備について検討したいが、便益施設等の立地可能性について伺いたい。 ○参入にあたり、どのようなハード整備（公園施設）やソフト整備（条例等）をすることで、参入しやすくなるのか伺いたい。 ○まつばら綾瀬川公園にて、官民連携による事業を進める場合には、どのような便益施設等が適しているのか意見を伺いたい。 ○事業参画の可能性がある場合、どのような事業分野でお考えか伺いたい。

⑦前提条件 ※事業化にあたって事業者 に考慮してほしい事項等を簡 潔にご記入ください	・都市公園として幅広い世代の利用を想定している。中心の利用者としては、子ども及び子育て世代を想定している。 ・遊具広場と健康遊具のエリアを現在分けて設置しているため、同様に分けて設置を行いたい。 ・防災拠点（ヘリポート（場外離着陸場）や、応援部隊（主に自衛隊）の拠点）に指定しているため、広場はそのまま利用したいと考えている。 ・公園施設として親水施設があることや公園に隣接して綾瀬川が流れているため、水をテーマの一つにしたい。
⑧事業スケジュール（予定）	令和7年 公募 令和8年 着工等
（２）対象地	
①所在地（交通情報含む）	埼玉県草加市松江一丁目54番40、44、49、50 （獨協大学前から徒歩10分）
②敷地面積	約41,500㎡
③土地利用上の制約	・市街化地域 ・都市公園法上の建蔽率 ●基準2%（約830㎡） ※既存施設 - トイレ2箇所（37㎡、50㎡） ●その他建築物なし ●都市公園法上の特例により建蔽率の上限は緩和できます。
④所有者	草加市
⑤周辺施設等	1km 圏内に、東部スカイツリーライン・獨協大学前<草加松原>駅、市民体育館、小学校、中学校、商業施設等が立地
⑥対象地周辺の環境	・最寄駅の獨協大学前（草加松原）駅の周辺にはマンションが多くある地域であり、市内でも人口密度の高い地域の近くある。 ・市の中心に位置しており、平坦な場所である。 ・公園周辺は、一級河川の綾瀬川や工場、閑静な住宅街がある。 ・綾瀬川の向かい側に国指定名勝の松並木が立地している。
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	草加市について ・人口251,521人（令和6年4月） ・県内人口数6位 微増している。今後も独自推計では、令和15年まで微増を想定。その後は、令和50年頃までに22万8千人程度まで減少する推計となっている。 ・埼玉県の南東に位置しており、北側には越谷市、南側には東京都足立区。

■添付資料

①：サウンディング調査に当たって（現況資料）